

はじめに

第Ⅰ巻では「みる」力を中心に、子どもの学びの“土台”となる力を育てる教材をご紹介しました。本巻となる第Ⅱ巻では、より多様なアプローチを可能にする教材の数々をお届けします。

本書で扱うのは、「おぼえる」「うごく」「ことば」「きもち・こころ」という、学習にも生活にも欠かせない四つの領域です。いずれも、子どもが自分らしく学び、豊かに成長していくために必要な力ばかりです。それゆえ、これらの力に凸凹がある場合には、学習や生活場面における「つまずき」や「困り感」につながることが少なくありません。

そこで本巻では、「学びの土台づくり」にアプローチするべく、遊び感覚で取り組めるものから、じっくり集中して取り組むものまで、幅広く教材を紹介しています。

- ・全身を大きく動かして感覚や運動機能を高める教材
- ・指先の微細な動きを通して巧緻性を養う教材
- ・楽しみながらワーキングメモリ機能を高める教材
- ・言語感覚を豊かに育む教材
- ・自身の感情の流れと向き合い、気持ちを落ち着かせるための教材
- ・デジタルアプリとの組み合わせで効果を高める教材 など

これらは、専門知識がなくてもすぐに始められるシンプルなものばかりで、学校でも家庭でも、子ども自身が主体的に取り組めるように設計しています。

第Ⅰ巻と併せてお使いいただくことで、子どもの発達をより多角的に捉え、支援の幅を広げるのに役立てていただけるものと考えています。

本書の教材が、子どもの「できた!」「わかった!」という喜びを少しでも増やす手助けとなれれば幸いです。

それでは、第Ⅱ巻の教材もどうぞお楽しみください。